

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2008年度 業績予想の修正

2008年 9月19日

株式会社 **東芝**

代表執行役専務 村岡 富美雄

注意事項

- この資料には、東芝の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て12ヵ月累計です。

概要 08年度業績見通し

単位: 億円

	業績見通し			対計画			対07年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
売上高	35,500	41,500	77,000	-2,500	-500	-3,000	-1,399	1,718	319
営業損益	-300	1,800	1,500	-1,000	-400	-1,400	-1,125	244	-881
%	-0.8%	4.3%	1.9%	-2.6%	-0.9%	-1.7%	-3.0%	0.4%	-1.2%
税引前損益	-700	2,400	1,700	-1,200	300	-900	-1,468	612	-856
%	-2.0%	5.8%	2.2%	-3.3%	0.8%	-1.1%	-4.1%	1.3%	-1.1%
当期純損益	-500	1,200	700	-650	50	-600	-957	383	-574
%	-1.4%	2.9%	0.9%	-1.8%	0.2%	-0.7%	-2.6%	0.8%	-0.8%

セグメント情報 08年度業績見通し

単位: 億円

売上高	業績見通し			対計画			対07年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
デジタルプロダクツ	14,100	15,500	29,600	-900	-500	-1,400	-292	380	88
電子デバイス	7,900	8,700	16,600	-1,000	-900	-1,900	-933	148	-785
社会インフラ	11,100	14,400	25,500	0	500	500	235	1,075	1,310
家庭電器	3,700	4,000	7,700	-300	0	-300	-138	95	-43
その他	1,700	1,800	3,500	-100	-400	-500	-280	-66	-346
連結計	35,500	41,500	77,000	-2,500	-500	-3,000	-1,399	1,718	319

営業損益	業績見通し			対計画			対07年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
デジタルプロダクツ	170	530	700	-80	80	0	167	383	550
%	1.2%	3.4%	2.4%	-0.5%	0.6%	0.1%	1.2%	2.4%	1.9%
電子デバイス	-680	30	-650	-980	-520	-1,500	-1,220	-171	-1,391
%	-8.6%	0.3%	-3.9%	-12.0%	-5.4%	-8.5%	-14.7%	-2.1%	-8.2%
社会インフラ	300	1,200	1,500	100	100	200	100	87	187
%	2.7%	8.3%	5.9%	0.9%	0.4%	0.7%	0.9%	-0.1%	0.5%
家庭電器	-80	80	0	-90	-10	-100	-68	29	-39
%	-2.2%	2.0%	0.0%	-2.5%	-0.3%	-1.3%	-1.9%	0.7%	-0.5%
その他	-40	-10	-50	10	-10	0	-136	-61	-197
%	-2.4%	-0.6%	-1.4%	0.4%	-0.6%	-0.1%	-7.2%	-3.3%	-5.2%
連結計	-300	1,800	1,500	-1,000	-400	-1,400	-1,125	244	-881
%	-0.8%	4.3%	1.9%	-2.6%	-0.9%	-1.7%	-3.0%	0.4%	-1.2%

業績予想修正の理由

- NAND型フラッシュメモリの価格下落、デジタル民生機器向け半導体需要減により売上及び営業損益が大幅に悪化
 - 売上高 12,800億円（対計画：-2,200億円）
 - 営業損益 -650億円（対計画：-1,550億円）
- 想定を上回るNAND型フラッシュメモリの価格下落
 - ✓ 市場は成長しているものの、供給過剰により価格下落が想定以上に進んだ
- デジタル民生機器向け半導体需要減により、システムLSI 300mm工場の稼働率が低下

セグメント情報 纏め

- **デジタルプロダクツ**
携帯電話事業が販売制度の変更により市場が大きく縮小したことで苦戦するも、PC事業が好調を持続。TV事業もほぼ計画どおり推移する見通しで、全体としてはほぼ期初計画どおりの見込み
- **電子デバイス**
液晶事業がほぼ計画通りで対前年改善の見通しも半導体事業の大幅悪化により、期初計画を大幅に下回る見込み
- **社会インフラ**
電力・産業システム分野が引き続き好調で、売上、営業損益ともに期初計画を上回る見込み
- **家庭電器**
家電事業全般が低調で、期初計画を下回る見込み

営業外損益 08年度見通し

単位: 億円

	08年度	計画	07年度	差	
				対計画	対07年度
有価証券売却損益	750	0	327	750	423
固定資産売却損益	-110	-100	1,327	-10	-1,437
持分法投資損益	240	200	280	40	-40
為替決済差損益	20	0	-169	20	189
金融収支	-130	-150	-130	20	0
減価償却制度変更による影響	0	0	-466	0	466
HDDVD事業終息費用	0	0	-483	0	483
モバイル放送事業終息費用	-230	0	0	-230	-230
その他	-340	-250	-511	-90	171
営業外損益計	200	-300	175	500	25

半導体 08年度業績見通し

単位: 億円

売上高	業績見通し			対計画			対07年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
ディスクリート	1,240	1,310	2,550	-160	-190	-350	-1	65	64
システムLSI	2,590	2,360	4,950	-40	-410	-450	-604	-498	-1,102
メモリ	2,270	3,030	5,300	-800	-600	-1,400	-477	396	-81
半導体計	6,100	6,700	12,800	-1,000	-1,200	-2,200	-1,082	-37	-1,119

営業損益	業績見通し			対計画			対07年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
半導体計	-650	0	-650	-1,000	-550	-1,550	-1,301	-239	-1,540
%	-10.7%	0.0%	-5.1%	-15.6%	-7.0%	-11.1%	-19.8%	-3.5%	-11.5%

半導体 業績改善施策

● 徹底したコスト削減の実施に加え、緊急の改善施策を推進

1. メモリ事業

徹底したコスト競争力強化

- 43nm化の確実な推進
- 生産効率の最大化

2. システムLSI事業

事業規模最大化及び収益力の改善

- 300mm生産ラインの稼働率の向上
- 「集中と選択」によるコアデバイスへの注力

3. ディスクリート事業

安定・高収益事業体質の確立

- パワーデバイスを中心に事業規模の拡大
- 固定費削減の更なる徹底

配当について

●配当(中間)

1株当たり 5円

配当の決定に関する方針

中長期的な成長のための戦略的投資等を勘案しつつ、連結配当性向30%程度を目標とし、配当の継続的な増加を目指す。

TOSHIBA

Leading Innovation >>>